

# 外国語活動学習指導案

海田町立海田小学校

- 1 日 時 平成 30 年 12 月 5 日 (水) 5 校時
- 2 学 年 第 4 学年 2 組 男子 19 名 女子 14 名 計 33 名
- 3 単元名 Dream 4-5 What time is it? 世界の都市は今、何時?  
＜Let's try! 2 Unit 4 What time is it? 今、何時?＞

## 4 単元について

- 本単元は、一日の生活を題材に、どんな一日を過ごしているのか、また、一日の中で一番好きな時間はいつかなどを伝え合う活動を行う。その中で、これまで知らなかった友達の新しい一面に出会うことで、言葉は相手のことを知り、自分のことを知ってもらうためにある、仲良くなるためにあることを実感させることができる。

ただ、“I eat breakfast.” や “I go to bed.”, “I play soccer.” のように動詞を用いて日課を表す表現は、まだこの段階では聞いたり言ったりすることは難しいことから、“Breakfast Time”, “Snack Time” など名詞の形で日課を扱う。また、世界の時刻も扱い、世界には時差があることを知ることができる単元である。

- 本学級の児童は、昨年、年間 35 時間の外国語活動を行った。また、毎日朝の会で「ひとくち英語」に取り組み、外国語に触れる時間を設けている。

6 月に行ったアンケート調査では、「外国語活動の授業に進んで参加しています。」の問いに対して、肯定的な回答をした児童（以下、肯定的な児童）が 30 名で 91%（9 月には肯定的な児童が 33 名で 100%に増加）、否定的な回答をした児童（以下、否定的な児童）が 3 名で 9%であった。また、肯定的な児童が「小学校での英語の勉強は将来約に立つと思います。」で 29 名（88%）、「もっと英語を学びたいと思います。」で 28 名（85%）であった。このことから、約 90%の児童が外国語活動の授業に高い学習意欲を持っていることが分かる。一方で、「外国語活動の授業以外で英語を使ってみたいと思います。」では否定的な児童が 10 名で 31%おり（9 月には 5 名で 15%に減少）、授業以外の場面では外国語に親しもうとする意欲につながっていないことが分かった。また、やり取りに関する 3 つの質問項目では、いずれも否定的な児童が 6 名（18%）いることが分かった。

概ね外国語活動に対する学習意欲は高い学級であるが、授業以外での英語使用ややり取りの場での使用に苦手意識を持っている児童が約 2 割いることも分かった。

- 指導に当たっては、常に単元のゴールとなる活動を想定し、本時の活動が次時にどのようなつながるのかを児童に伝えていく。また、表現に慣れ親しむ場面では、支援が必要な児童を中心に発話の確認を行ったり、英語でどのように表現するのかアドバイスをしたりして、自信をもって取り組むことができるようにする。さらに、やり取りの場面では、機械的にペアを作って会話できる場面を設定し、ペアを明確にすることで支援が即時に行えるようにする。

単元導入では、数字や日課の言い方に慣れ親しむ場を設ける。特に数字の言い方は、これまでも授

業や日々の生活の中で慣れ親しんできているが、上手く言えない児童も多いため、一人で言わせたり、ペアで交互に言わたりする。また、指導者自身の1日を紹介することで、時刻を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しませ、自分の1日について英語で言ってみようという意欲を高める。

次に、表現に慣れ親しんでいく活動においては、ペアやグループ活動で互いに表現を確認したり、教え合ったりできるようにする。また、時刻や日課の表現に加え、その日課にあった表現を考え、紹介する活動に挑戦させる。自分の日課に合った表現を言う活動を通して、学習への意欲を高める。

最後に、単元ゴールでは時差時計を使って、様々な国の時刻や日課を言う活動を行う。この活動では、日本の時刻をもとにその国の時刻や日課を考え、グループごとに発表を行う。グループで思考し、発話することができる活動は、誰もが安心して意欲的に活動できると考える。このような活動を通して、友だちとやり取りしたり、英語を学習したりする意欲や自信を高めていく。

## 5 単元目標

- 相手に伝わるよう工夫しながら、自分の好きな時間や世界の都市の時間について尋ねたり答えたりしようとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 時刻や生活時間の言い方や尋ね方について慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】
- 自分の好きな時間について尋ねたり答えたりして伝え合う。 【外国語への慣れ親しみ】
- 国や地域によって時刻が異なることに気付く。 【言語や文化に関する気づき】

## 6 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気づき
相手に伝わるよう工夫しながら、自分の好きな時間や世界の都市の時間について尋ねたり答えたりしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻や生活時間の言い方や尋ね方を聞いたり言ったりしている。</li> <li>・一日の生活の中の自分の好きな時間について尋ねたり答えたりしている。</li> </ul>	国や地域によって時刻が異なることに気付いている。

## 7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	<p>教室内にニューデリー（インド）、ロンドン（イギリス）、リオデジャネイロ（ブラジル）、ホノルル（アメリカ）の4都市で構成する小さな地球グループを2組作る。HRTが広島（日本）を担当し、時刻とそこでしていることを伝える。日本の時刻を聞いた後、各都市グループは時差時計を用いて、その都市の時刻とそこでしていることを考え、発表の準備をする。最後は、日本から順にリレー形式でハワイまで会話をつなげる。</p>
目指す発話例	<p>【お題を出す】 I'm in Hiroshima. It's 6 a.m. 【各国で時刻としてしていることを考え、発表する】 I'm in Hiroshima. It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." Good morning.</p>

	What time is it? リレー開始 ニューデリー→ロンドン→リオデジャネイロ→ホノルル I'm in New Delhi. It's 2 a.m. It's "Dream Time." I'm happy. What time is it?	} 各国が同様に繰り返す。
--	---	---------------

8 言語材料

主な表現	主な語彙
<ul style="list-style-type: none"> <li>• What time is it?</li> <li>• It's 5:30 p.m.</li> <li>• It's "Homework" time.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 数 (forty, fifty, sixty) • a.m. , p.m. • about</li> <li>• 日課・時間 ([wake-up/breakfast/study/ lunch/snack / dinner / homework/TV/ bath / bed/dream]time)</li> <li>[既出] 挨拶, How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy /snowy]. What day is it? It's (Monday).</li> <li>what, is, it, book, 数(1~60), 曜日, スポーツ, 遊び</li> </ul>

9 単元計画

時	目標 (◆), 主なやり取り等	表現・会話例	評価規準 (方法)
1	◆時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。 ○先生の生活を知ろう。 ・指導者の話を聞いて、先生の日課を知る。 ・これまでに慣れ親しんだ数の言い方を確認したり、時刻と日課の言い方を知ったりする。 ・時計 (模型) を使って時刻を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <b>【Let's Watch and Think 1】</b> p.14, 15 ・登場人物がどの時刻に何をするかを聞いて、時刻と日課を線で結ぶ。 <b>【Let's Chant】</b> What time is it? p.15 <b>【帯活動】</b> What's my job?	[Wake up/Breakfast/ Study/Lunch/Snack/ Homework/Dinner /Bath/Bed/Dream]Time  What time is it? It's 6 a.m. It's "Wake-up Time."  What time is your "wake-up time"?	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">見通し</div>  <b>【慣】</b> ◎時刻や日課を聞いている。(行動観察・誌面点検・振り返りカード点検)
2	◆世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。 ○数字の言い方を1人で言ったり、ペアで確認したりする。 ○ポインティング・ゲーム ・指導者の言う日課を、誌面の p.14,15 から探して指さし、繰り返して言う。	What time is it? What time is it? It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." Do you like "~Time"? What time is your "~Time"? What time is it in Tokyo?	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">見通し</div>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活にあるオリジナルな〇〇timeを考える。</li> </ul> <p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.16, 17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者の質問に答えながら、時刻の言い方に慣れ親しむ。</li> <li>映像資料を視聴し時計を完成させ、時刻と日課を線で結ぶ。</li> </ul> <p>【Let's Listen】 p.16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声を聞いて、時刻を聞き取り、時計に短針を記入し時計を完成させる。</li> </ul> <p>【帯活動】 What's my job?</p>	<p>It's twelve in Tokyo.</p> <p>I like 3 p.m.</p> <p>Why?</p> <p>It's "Snack Time."</p> <p>I like sweets.</p>	<p>【気】</p> <p>◎世界の国や地域によって時刻が違うことに気付いている。</p> <p>【慣】</p> <p>◎時刻や日課を聞いたり言ったりしている。</p> <p>(行動観察・誌面点検・振り返りカード点検)</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆時刻や日課の言い方に慣れ親しんだり、自分の好きな時刻について尋ねたり答えたりする。</li> <li>○数字の言い方を1人で言ったり、ペアで確認したりする。</li> <li>○日課の言い方を確認する。</li> <li>・日課に合った「+one表現」を考えて、交流する。</li> </ul> <p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>【Activity】 P.17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のお気に入りの時刻とその理由を伝え合おう。</li> <li>○自分の1日の生活の時刻を紹介しよう。</li> <li>・自分の日課のオリジナル〇〇timeを考える。</li> </ul>	<p>What time is it?</p> <p>It's 6 a.m.</p> <p>It's "Wake-up Time."</p> <p>Good morning.</p> <p>I like 6:00 p.m. Why?</p> <p>It's game time.</p> <p>It's fun. I like Mario.</p>	<p style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">協働</p> <p>【慣】</p> <p>◎日課について、尋ねたり答えたりしている。(行動観察・振り返りカード点検)</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。</li> <li>○数字の言い方を1人で言う。</li> <li>○日課の言い方を確認する。</li> </ul> <p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○指導者の1日を聞く。</li> <li>○自分の1日を伝え合おう。</li> <li>・自分の日課の〇〇timeを考える。</li> <li>・友達と日課を伝え合う。</li> <li>・オリジナルで考えた〇〇timeについて全体で交流する。</li> </ul>	<p>What time is it?</p> <p>It's 6 a.m.</p> <p>It's "Wake-up Time."</p> <p>Good morning.</p> <p>"Bed Time", what time is it?</p> <p>It's 9 p.m.</p> <p>Baseball time.等</p> <p>Nice batting! 等</p>	<p style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">協働</p> <p>【慣】</p> <p>◎日課について、尋ねたり答えたりしている。(行動観察・振り返りカード点検)</p>

5 本 時	<p>◆世界の都市の時間や日課について伝え合おうとする。</p> <p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.14, 15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデル VTR を視聴する。</li> </ul> <p>【Activity】 p.17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時差時計を使って世界の都市の時間や日課を伝え合う。</li> </ul>	<p>What time is it?</p> <p>What time is it?</p> <p>It's 6 a.m.</p> <p>It's "Wake-up Time."</p> <p>I'm in Hiroshima.</p> <p>It's 6 a.m.</p> <p>It's "Wake-up Time."</p> <p>Good morning.</p> <p>London, What time is it?</p>	<p style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">協働</p>
			<p>【コ】</p> <p>◎相手に伝わるよう工夫しながら、世界の都市の時間について尋ねたり答えたりして伝え合っている。(行動観察・振り返りカード点検)</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">振り返り</p>

10 本時の計画

(1) 目標

相手に伝わるよう工夫しながら、世界の都市の時刻について尋ねたり答えたりしようとする。

(2) 評価規準

相手に伝わるよう工夫しながら、世界の都市の時刻について尋ねたり答えたりしようとしている。

(3) 準備物：タブレット グループ用時計模型 時差時計 世界地図 国旗

(4) 展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	◎評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者とペアで行う。</li> <li>曜日、日付、天気、時刻を言う。</li> </ul> <p>2 【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>3 【Let's review】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時で行った活動を行い、本時の活動につなげる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【Demonstration1】 I'm in London. It's 12:00 p.m. It's "Lunch Time." I'm hungry. Hiroshima, what time is it?</p> </div>	<p>◇時差時計を使って、本時で扱う4カ国の時刻を尋ねる。</p> <p>◇世界地図を提示し、時差を意識できるようにする。</p> <p>◆P.14,15で、時刻と日課を確認しながら言うように伝える。</p> <p>◇時差時計の使い方を想起させる。</p> <p>◇グループで回答を考え、時刻、日課、+αを考え発表する。</p> <p>◆+αでは、“I like ~.” “I want ~.” “It's ~.” “I'm ~.”などの既習表現を活用するように伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Hiroshima, it's 9:00 p.m. It's "Bed time." Good night.</p> </div>	

<p>5 本時のめあてを確認する。</p> <p>6 <b>【Let's Watch and Think】</b></p> <p>・モデル VTR を視聴する。</p> <p><b>【Activity】 p.17</b></p> <p>・時差時計を使って世界の都市の時間や日課を伝え合う。</p>	<p><b>相手に伝わるように、世界の都市の時刻と日課を言おう。</b></p> <p>◇モデル VTR がどのような会話や流れになっていたのかを確認する。</p> <p>◇これから自分たちも同じようなやり取りを行うことを伝える。</p> <p>◇尋ね方や伝え方では、ジェスチャーや言い方を、+α表現についてはオリジナリティを評価し、回数を重ねるごとにレベルアップを実感できるようにする。</p> <p>◇活動の流れがつかめるように、略図を使って伝える。</p> <p>◆発表する表現を考えることが難しいグループを中心に支援に入り、発話確認やアドバイスをしたりする。</p>		<p><b>【コ】</b></p> <p>◎相手に伝わるよう工夫しながら、世界の都市の時刻について尋ねたり答えたりしようとしている。</p> <p>(行動観察, 振り返りカード点検)</p>								
<p>1 回目(グループ)活動を理解する</p> <p>2 回目(グループ)良い点の共有</p> <p>3 回目(全体)相手に伝わる工夫の確認</p> <p>4 回目(グループ)活動のまとめ(予備)</p>											
<p>「相手に伝わるように」</p> <p>○ゆっくり言う</p> <p>○ジェスチャーをつけて</p> <p>○大切な所を強く言う</p> <p>○海小 G C S</p>											
<p><b>【指導者がお題を出す】</b></p> <p>I'm in Hiroshima. It's 1:00 a.m. What time is it?</p> <p><b>【各国で時刻と日課を考え、発表する】</b></p> <p>I'm in Hiroshima. it's 1:00 a.m. It's "Dream Time." Nice dream.</p> <p>New Delhi, (発表準備完了後, 1, 2 のかけ声) (全員) What time is it? (リレー開始 ニューデリー→ロンドン→リオデジャネイロ→ホノルル)</p> <p>New Delhi, it's 9:00 p.m. It's "TV Time." 各国が同様に繰り返す。 It's fun.</p> <p>London, (発表準備完了後, 1, 2 のかけ声) (全員) What time is it? (続く)</p>	<p><b>【教室配置図】</b></p> <p>日本</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"><b>Aグループ</b></td> <td style="width: 50%;"><b>Bグループ</b></td> </tr> <tr> <td>① 7 班</td> <td>① 1 班</td> </tr> <tr> <td>② 8 班</td> <td>② 4 班</td> </tr> <tr> <td>③ 9 班</td> <td>③ 5 班</td> </tr> <tr> <td>④ 6 班</td> <td>④ 3 班</td> </tr> </table> <p><b>【最初に担当する国】</b></p> <p>①ニューデリー ②ロンドン ③リオデジャネイロ ④ホノルル</p>	<b>Aグループ</b>	<b>Bグループ</b>	① 7 班	① 1 班	② 8 班	② 4 班	③ 9 班	③ 5 班	④ 6 班	④ 3 班
<b>Aグループ</b>	<b>Bグループ</b>										
① 7 班	① 1 班										
② 8 班	② 4 班										
③ 9 班	③ 5 班										
④ 6 班	④ 3 班										

まとめ	<p>○本時及び単元の振り返りをする。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇単元を振り返って、時刻や生活時間が言えるようになったことや、世界の国々には時差があることや好きな生活時間がそれぞれ違うことに気付いたことなどを振り返らせる。</p> <p>◇児童がはっきりとした声で相手意識をもって応答していた姿を評価する。</p>	
-----	--	--	--

1 1 板書例

**Today's goal**

**相手に伝えるように  
世界の都市の時間と日課を伝えよう。**

ジェスチャー  
合わせて言う など

世界地図

**【教室配置図】**

Aグループ	日本	Bグループ
① 7 班		① 1 班
② 8 班		② 4 班
③ 9 班		③ 5 班
④ 6 班		④ 3 班

+α表現

I like ~.

I want ~.

It's ~.

I'm ~.